

予算編成要領

1. 予算編成に当たって

- (1) 投資対効果と成果を重視する「経営」の視点に立ち、規律ある選択と集中を図ること
で、物価高騰の影響下において限られた財源を成長に資する分野へ重点的に投じる。
その際、国の概算要求等の動向も踏まえ、国庫補助金や交付税措置のある地方債等の
有利な財源を積極的に活用した予算編成とする。これにより、都市価値の向上と市民
サービスの充実を図るとともに、人口減少に伴う職員数の減少には、生成A I等を行政
運営の前提と位置付けた業務効率化を進め、持続可能で質の高い行政サービスの提
供を目指す。
- (2) 予算要求における資料作成、活用可能な国・県補助金等の洗い出し、積算根拠の整
理・点検等の業務において、生成A Iを積極的に活用すること。本取り組みは、定型
業務の省力化のみならず、A Iを壁打ち相手とした多角的な論点整理や事前検証を通
じて、事業の必要性や効果についてより深く建設的な議論を行うための土台（ベー
ス）を構築することを目的とする。
特に新規・投資的経費の要求に当たっては、作成した計画書等を事前にA Iで多角的に
点検・チェックさせ、客観的な視点から不足している情報を補強するなど、対外的な説
明責任を果たせる要求水準の確保を徹底すること。
- (3) 行政だけでは把握しきれない多様な課題や市民の視点を施策に反映するため、昨年度
に引き続き予算編成における市民アンケートを実施する。当該アンケートにより得ら
れた市民の意向や潜在的なニーズを分析し、真に市民が求める施策の展開へとつなげ
る予算編成とする。

2. 歳入に関する事項

- (1) 新規・既存事業問わず、国・県の補助制度や他団体の助成制度を積極的に活用し、財
源確保に努めること。（市単独事業で補助制度がない場合は、関係機関へ積極的に要
望し、市負担の軽減に努めること。）
- (2) 上記（1）の財源確保については、生成A Iを用いて、活用できる財源がないかを十
分に調査した上で、要求すること。
- (3) 企業との共創、協賛、クラウドファンディングなど新たな歳入の確保に向けた提案に
努めることとし、各部局・各課の努力のもとで財源確保の方策をまとめた上で、予算
要求すること。

3. 歳出に関する事項

- (1) 施設の改修については、今後の在り方を十分に検討した上で、方向性を明確にし、そ
の内容に基づいて改修費等を要求すること。
 - ・改修は、緊急性の高いものから優先的に実施し、計画的かつ効率的に対応すること。
 - 過剰な仕様による改修は控えること。
 - ・見積書は、民間事業者から徴取し、市場価格を的確に反映した内容とすること。
- (2) 歳出の見積りに当たっては、物価や賃金の動向を踏まえて見積もるとともに、その増
加分は事務事業の見直し等、選択と集中により捻出すること。また、行政と民間の役
割分担や事務事業の必要性を厳格に検証し、目的達成に最も効果的かつ効率的な手法
であるか、最小のコスト・人員で実施されているかを点検すること。過去の事業効果

等のエビデンスを踏まえ、業務の効率化を前提として要求すること。

4. 要求スケジュール

(1) 提出期日

- | | |
|---------------|----------------|
| ・ 経常経費 | 10 月 2 日（金）締切 |
| ・ 新規的経費・投資的経費 | 10 月 20 日（火）締切 |

(2) ヒアリング

- ・ 新規的経費・投資的経費にかかる市長ヒアリング 11月上旬以降（予定）
- ・ 総務部長ヒアリングは必要に応じて実施。実施する場合は別途連絡する。